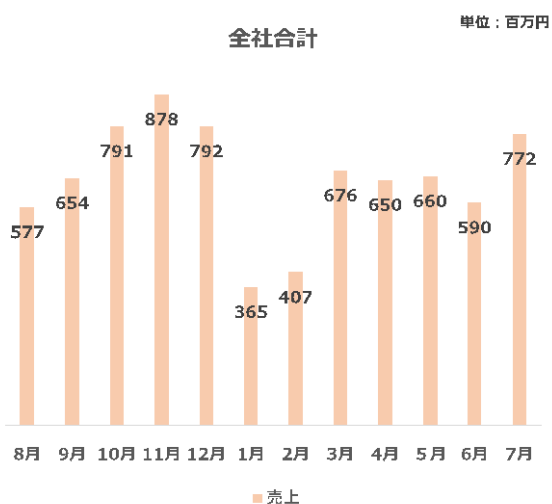


各 位

会社名 株式会社 ひらまつ
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 遠藤 久
 (コード番号 2764 東証一部)
 問合せ先 取締役 CFO 北島 英樹
 (TEL: 03 - 5793 - 8818)

月次速報(単体)に関するお知らせ

2021年7月度の月次業績(単体)速報について、以下のとおりお知らせいたします。

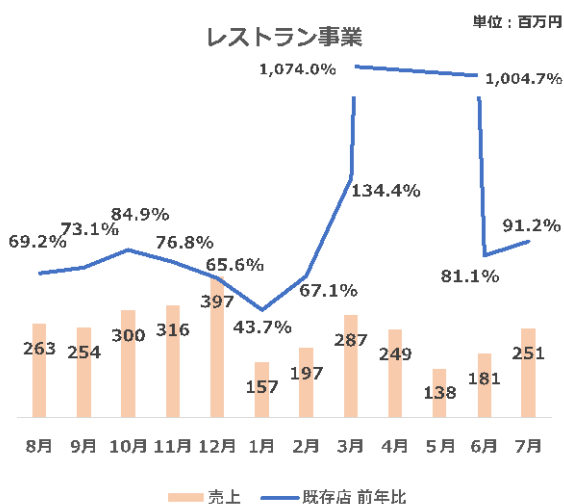


全社合計

7月の全社売上は772百万円、全社の既存店売上前年比は135.3%、一昨年対比で77.9%の水準まで回復(6月の一昨年対比は61.2%)しております。6月21日からのまん延防止等重点措置への移行に伴う酒類提供の緩和が追い風となったことに加えて、レストラン事業においては夏の全社プロモーションが奏功し、既存店売上前年比が91.2%(一昨年対比61.9%)まで回復。また、テイクアウト&デリバリーの積極的な取組みにより、その他食物販の売上前年対比は121.1%となり、当社の新たな事業の柱に育ちつつあります。なお、ホテル事業においては、7月3日に発生した熱海における土砂災害の影響による予約キャンセル等があったものの既存店売上前年比は108.1%(一昨年対比129.0%)となり、全体としては引き続き堅調に推移いたしました。

但し、7月12日より再度発令された緊急事態宣言による酒類提供の禁止の影響は引き続き予断を許さない状況にあることから、売上拡大の余地が見込める店舗や時間帯への戦略的な人員配置やテイクアウト&デリバリー等の取組みを加速させてまいります。

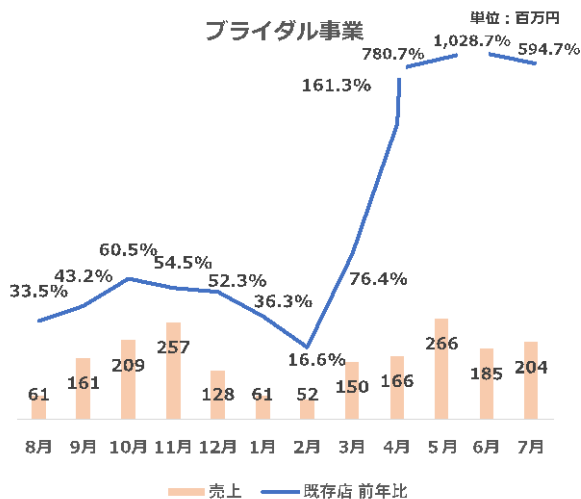
また、コロナ感染者数の再拡大を前に、当社独自の安全基準である「ひらまつスタンダード」においては、社員の行動基準などを具体的に明示し徹底するなど、安全対策の更なる強化を実施しております。



レストラン事業

東京を中心に緊急事態宣言発令等による酒類提供の休止要請があったものの、一部地域での解除も受けて、ランチにおいては、7割以上の店舗で客数・売上が前年を20~50%上回り、来店者数は前年比114%、売上は前年比108%という結果となりました。またランチ、ディナーともに、7月1日より始まった全店施策「旬のオマール海老を使った特別メニュー」を提供したことをはじめ、各店にて工夫を凝らした期間限定コースを積極的に売り出したことが奏功し、客単価はランチ、ディナーともに昨年を上回る高単価を維持することができました。

テイクアウト&タクシーデリバリーについては、自宅でのスポーツ観戦などのニーズを受けたセット商品などの販売が伸びたことにより、昨年を上回る売上となりました。

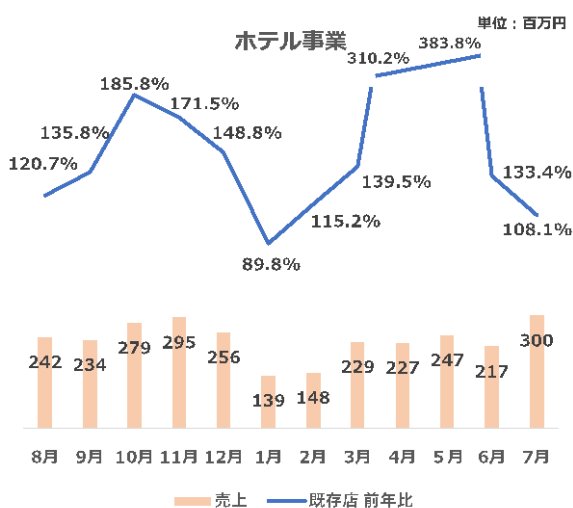


ブライダル事業

緊急事態宣言発令・延長に伴い、7月はマーケット環境としては引き続き厳しい状況にあったものの、実施婚礼においては、参列ゲスト人数が今期最大数となるなど、組単価も前月比プラスとなり、コロナ収束への期待や、大人数ウエディングを要望するお客様が増える兆しを感じた月となりました。

新規獲得営業においては、来年の婚礼検討が視野に入る時期となり、コロナ明けを見据えたカップルの動きも伸長し、7月の新規見学数は今期最高数となりました。成約においては、コロナの状況を慎重に受け止めた成約率鈍化の傾向もある中、魅力的な成約特典の設置などにより成約数の確保に努めております。

また、新たな体験価値の開発として、プロポーズプランやフォト婚、2回目の結婚式(パウリニューアル)など、結婚式に留まらない商品の開発を進めており、ブライダルの域を超え当社の事業価値を最大化するライフ・タイム・バリュー事業に向けたベース作りを始めております。



ホテル事業

まん延防止等重点措置から緊急事態宣言への切替えにより厳しいマーケット状況が続いておりますが、キャンセル数は6月に引き続きが通常時の水準に留まり、台風等による悪天候の影響を受けながらも既存店は昨年比108%、一昨年比においても129.1%と全体としては引き続き堅調に推移いたしました。

賢島は、引き続き好調に推移しております。熱海、宜野座、仙石原は、台風等による施設への大きな被害はなく堅調に推移しております。京都は引き続き厳しいマーケット状況が続いておりますが、当社独自の安全基準である「ひらまつスタンダード」に則った安心安全なサービスと各種施策が奏功し、京都市街のホテルの中では比較的高稼働で推移しております。森のグラン・オーベルジュ「THE HIRAMATSU 軽井沢 御代田」は、今夏において大変好調に推移しております。秋に向け、森の中での食体験を提案するフォレストダイニング(ガーデンランチ)を新たに展開するなど、滞在価値を高めることにより今夏の好調を秋冬につなげてまいります。

注) 1. 各数値につきましては、速報値のため確定値と異なることがあります。

(監査法人の監査は受けておりません)

2. 上記数値は株式会社ひらまつ単体の数値であり、連結数値ではありません。

3. 各月の数値は百万円未満を四捨五入しております。

4. 開業より15か経過した店舗を既存店とします。

※2020年11月に閉店した「ブラスリー ポール・ボキューズ博多」、2020年12月に閉店した「レストランテ オルケストラータ」は2020年12月からレストラン事業の既存店に含んでおりません。

※2021年2月より当社による運営となった「高台寺ひらまつ」、「十牛庵」はレストラン事業の既存店に含まれておりません。

以上